

2018年11月12日

## 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者の長期予後に関する検討

### ◆研究の目的と概要◆

この研究は、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と診断され治療を受けた患者さんの中で、治療内容と再燃率、運動神経障害の改善率を比較して治療の有効性を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

### ◆対象となる患者さん◆

2001年1月から、2018年10月までの間に、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と診断され治療された方。

### ◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、臓器病変、気管支喘息の有無、発症日、治療開始日、血液検査、治療内容転帰、運動神経障害の改善率（MMTの数値）

### ◆研究方法◆

本研究では、電子カルテ等の診療録に記載されている、患者さんの上記データを利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

内分泌代謝・リウマチ内科 研究責任者 向山 宙希

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明